

『日本の鬼、アメリカの鬼』



西ノ島の皆さん、二月三日の節分には、どんなことをしますか。日本では豆まきをしたり、海苔巻きを食べたりする習慣があるよと、先日、オハイオ州にいる家族に教えてあげました。さてさて、節分の事を英語で言うと、どんな感じでしょうか。

豆まき bean throwing

節分 Setsubun

鬼 oni

太巻き thick sushi roll

(巻き寿司は roll sushi や sushi roll で、太巻きの「太」を意味するのは thick。

Roll sushi is popular in America. (巻きずしはアメリカでは人気) など。)



あれ？鬼は oni そのままですか？アメリカでは鬼がないということでしょうか。まあ、鬼みたいな ogre(オーガ)はいますが、日本の鬼との相違点や共通点があります。オーガは、西洋の昔話によると、人間を食べる、醜い巨人で、日本の山姥が住みそうなところ、山の奥や森の奥に住んでいます。

見た目はさまざまですが、人間より背が高く、肌の色が薄いねずみ色や、薄い緑という、オーガのイメージがあります。角の付いている、トラ柄の布を着たりする鬼のことをどうしても英語で説明したいならば、Japanese ogre (ジャパニーズ・オーガ、日本のオーガ) がアメリカ人にとって一番わかりやすい言い方かもしれません。

こんな風に、鬼とオーガのように、「少し似ていて、少し違う」文化が発見出来て楽しいですね。鬼であれ、オーガであれ、皆さんのところに鬼が来ませんように！

鬼は外！ 福は内！
Bad oni out! Good fortune in!



活動が行われました。
参加したみた保育園の園児たちは一般の参加者や活イカ活っちゃん、みこびー君らとともに隠岐汽船フェリー乗降客にチラシを配布し、広報活動を手伝いました。

1月9日(金)、110番の日にちなみ、別府港フェリー第2ターミナル2階にて、110番の日の広報

110番の日

活動が行われました。
110番の日には、町民の皆さんから、新しい図書を購入をし、さらに、町民の皆様が役立つ図書室になるよう活用させていただきます。ありがとうございました。



図書カードの寄贈

昨年12月、公益財団法人ごっぎん島根文化振興財団様より、図書カードを寄贈していただきました。平成23年度に公民館図書室の改装を行って以来、多くの方のご協力を得ながら、町民の方にたくさん利用していただけたことを認めていただいたものです。



「はつまいり」に参加しませんか。

焼火山の中腹にある焼火神社では昔から「はつまいり」という行事が行われています。

「はつまいりって、何?」と思われる方もいるかもしれませんが、この島前地区にとって重要な行事です。「はつまいり」とは、各地区の参加希望者が一団となって、焼火神社まで登り、船や家などの安全祈願を行うものです。

※昔は船で波止地区にある鳥居まで行き、そこから1時間かけて神社まで登山していました。

また、神事後は、参拝者が神様と「直会（なおりい）」をします。祝う方法は地区によって異なりますが、特別な食事と隠岐の地酒で盛り上がり、地区内の親睦を深めます。

最近はこの「はつまいり」に参加する方が少なくなっており、とても残念に感じます。

回覧板等で「はつまいり」の情報を見かけましたら、近所に住んでいる方たちに声をかけて「はつまいり」に参加しませんか?

詳細はお住まいの地区の区長さん等にお問合せください。



冬の隠岐の魅力を発信!



1月8日(木)、9日(金)の2日間、西ノ島町でテレビ東京の番組の撮影がありました。番組のテーマは「ニッポンの新名所(仮)」で、寒い冬の隠岐の魅力を発見するためのロケでした。番組ではビートたけしさんに東京のスタジオで隠岐のロケを見てもらい、外国人でも日本人でも楽しめる観光地や隠岐の魅力について話されるそうです。全国へ向け、良い宣伝になると思いますが、残念ながら、隠岐では番組を見ることができません! 島根県・鳥取県以外の都道府県に住む親戚や友人にお知らせください。

※2月20日(金) 22:00~「たけしのニッポンのミカタ」#207『ニッポンの新名所(仮)』

西ノ島ふしぎ発見 39

～田辺熊野ツーリズムビューローのブラッド・トウルさんと観光について話をしました～

ニコラ 和歌山県田辺市の熊野古道は近年外国人観光客に大人気ですけど、どうしてですか?

ブラッド 10年間で情報を整理したり、市内の看板等を整備して、旅行会社やメディアに宣伝をしたら、少しずつ世界で知られるようになりました。今では外国人観光客の人気スポットです。

ニコラ そうですか! すごいですね! 隠岐も外国人観光客の人気スポットになってほしいです。

ブラッド 良い戦略を作って、それに従って官民が力を合わせたらできると思います。熊野古道は世界遺産に登録した後、日本人観光客がたくさん来ましたが、その後あまり来なくなりました。昔は世界遺産ブームでしたが、今は観光客が熊野を再発見しに来ています。

ニコラ 隠岐は世界ジオパークとして認定されましたが、日本ではまだ世界ジオパークのブームじゃないです。

ブラッド 「ブーム」よりも「ルーツ」、その土地の魅力を充分説明してお客さんに発見してもらうのが重要です。隠岐では大自然、深い歴史文化、そして今の生活等は他の地方で味わえないものがたくさんあります。

ニコラ なるほど! 隠岐の日常は普通で味わえない日常で、そこに魅力がありますね。日本人も外国人も楽しめますか?

ブラッド もちろん! 熊野でも日本人も外国人も不思議な日常を体感しに来ています。隠岐でもこのような観光ができると思います。がんばってください。

